

医薬品副作用・感染症症例票

識別番号	C98-18236	15日	1999年3月26日	登録番号	C98-8931	情報入手日	1999年3月9日	同一症例番号	同一症例番号	年月日	死・感・重・先・感・改・OTC
患者略名	99	入院・外来	入院	妊婦	不明	医薬品副作用歴	無	主な既往歴・患者の体質等	有	(厚生労働省処理欄)	
C.M.	女性	医療機関所在地	北海道		職業	無職					
販売業者名 (企業名)	一般名	S O	経路	一日量	開始	終了	使用理由 原疾患には下線 合併症には()	副作用・ 感染症名	年月日	副作用・ 感染症の経過	易興奮性、錯乱、幻覚NOS、不安NEC、独語、言葉もれ
シンメトレル (日本チバガイギー)	塩酸アマンタジン	S	P0	150mg	1999/2/15	1999/2/25			1999/2/20	副作用・感染症の発現状況、症状及び処置等の経過	平が5年、当初は下痢、倦怠感があった入院。その後ほとくに自覚症状はなく経過し、社会的入院であった。最近になって軽度の高血圧、心不全、神経因性膀胱の診断で加療を受けていた。
ホルゾン (山之内製薬)	ジアゼパム	O	P0	4mg	1999/2/24	1999/2/27			1999/2/22	目が見られ「子供が落ちた」と幻覚症状が見られた。	PM7:00 ベッドのさくをはずし、たちあがり、家族の名前を呼んだり不穏状態、ホルゾン1A静注する。
アルダクトンA (日本モンサント)	スピロラクトン	O	P0	25mg	1997/11/3	1999/2/28			1999/2/23	PM7:00 ベッドから転落、顔部裂傷・打撲、右手打撲・縫合	
アテレック (ルセル森下)	シルニジピン	O	P0	5mg	1997/11/3	1999/2/28			1999/2/24	AM9:50 ベッド上座位にしてもすぐに横にこくずれ。ホルゾン内服開始。	
バップフオー (大鵬薬品)	塩酸プロピペリン	O	P0	20mg	1997/11/3	1999/2/28			1999/2/25	AM6:30 ベッド上ぐるぐる回りベッドのさくに顔をはさんだり、体動が激しくなると、独語が多くなる。	
ジゴキシン	ジゴキシン	O	P0	62μg	1997/11/3	1999/2/28			1999/2/26	PM3:30 多弁、ベッド上体動が激しい。	
ワンアルファ (帝人)	アルファカルシドール	O	P0	0.5μg	1997/11/3	1999/2/28			1999/2/27	AM3:00 入眠せず体動が多い。	
									1999/2/28	AM6:00 多弁で体動が活発、ベッドから降りようとする。	
									1999/3/1	AM10:53 眠気が強く、呼吸反応は有るがすぐ目を閉じてしまう。	
										AM5:30 訪室の際に、ベッドの鉄さくの間より頭〜肩〜腕を突っ込んで上半身垂れ下がった状態で発見される。呼吸停止、顔面(四肢)のチアノーゼ著明。当直医に連絡し蘇生を開始。	
										AM6:34 永眠	
										患者の体重 32Kg、身長 140cm	
										死亡 (死因 窒息の疑い) 剖検なし	
その他の治療:	(その他(なし))	再投与:	無	転帰:	死 (1999年3月1日)						